

平成26年度第7回 鹿島区地域協議会 会議録

＜地域協議会の日時・場所＞

- 1 日 時：平成27年1月21日（水）
午後1時30分～午後5時10分
- 2 場 所：鹿島区役所2階 大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】11名

五賀和雄、松野豊喜、大塚悦子、鈴木直門、西 達也
森 和浩、遠藤宗司、菅野行雄、渡部裕幸、早川孝雄
前田典郎

【欠席委員名】4名

折笠寛昭、星ちづ子、西 道典、齊藤延広

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2 会長あいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

五賀会長が会議録署名人に渡部裕幸委員と前田典郎委員を指名しました。

5 議事

(1) 報告事項

①南相馬市スポーツ推進計画（案）をパブリックコメントに付すことについて

○五賀会長

それでは早速議事に入ります。

報告事項①南相馬市スポーツ推進計画（案）をパブリックコメントに付すことについて担当より説明を求めます。

○文化スポーツ課長及びスポーツ推進係長

（資料により説明）

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ございますか。

○早川委員

体育施設について、曜日によって種目を指定し利用されていますが、過去、一番利用された種目はなんですか。また利用希望者が殺到し順番が来るのを待ちきれず希望者が帰ってしまう施設はありますか。

それから、最近ほとんど利用者がいない種目、その原因をどのように分析し、今後はどのようにするか、廃止、転用など利用者を増加させる対処方法はどのような考えを持っていますか。

○文化スポーツ課スポーツ推進係長

鹿島区のスポーツ施設については、現在仮設住宅や集会所の敷地となっているため、千倉体育館と前川原体育館のみの開放となっています。

バレーボール、バドミントン、卓球等の利用が可能ですが、できるだけ利用が重複しないよう指定管理者に調整してもらっています。

さらには小中学校の体育館での学校開放事業がございます。スポーツ施設を利用できない団体には、こちらのほうで利用をお願いしています。

次に、利用者を増加させることについてですが、種目によって利用頻度が多いものと少ないものがあります。震災前も同じですが、会員数、人気度によって変わってきますが、体育協会、レクリエーション協会等が会員増や利用促進を図っております。

○早川委員

小高区の現状についてはどのような見通しを持っていますか。

○文化スポーツ課スポーツ推進係長

屋内体育施設は小高体育センター1カ所、運動場は4カ所あります。

現在、小高体育センターのみ開放し、指定管理者による管理を行っております。月平均10名程度の利用ですが、スポーツができる環境を整えたということで一般開放を継続しています。

○菅野副会長

スポーツ推進計画の目標が漠然としています。将来南相馬市に住みたいと思えるような思い切った目標、計画をたててやっていくべきではないかと思えます。

お金をかけなくても、スポーツを楽しむ、健康を維持する、最終的には医療費を少なくする等、総合的な計画のもとで健康を推進することが一番大事だと思いますし、本当の意味での体力づくり、同時に総合的なコストダウンにもつながると思います。

○文化スポーツ課スポーツ推進係長

本計画につきましては、庁内の関係課とも調整しまして、結果的に市民が元気になる、健康増進につなげるという目標を持っています。

そういう意味で、基本方針に生涯スポーツの充実を掲げております。

震災以降、子どもの体力や運動能力低下が問題になっていきますので、家庭や地域等とも連携して取り組んでいく考えです。

○前田委員

みちのくかしま球場やサブグラウンドなど、東京オリンピックの練習場などに手を上げる予定はありますか。

○文化スポーツ課スポーツ推進係長

福島県知事を本部長として、「2020年オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部」が設置され、昨年市町村スポーツ担当者への説明会があったところです。

本市においては、スポーツ施設（馬事公苑等）を活用した事前合宿の誘致、相馬野馬追等を活用した文化・観光の発信、さらには、大会を取材し記事を作成する「子どもレポーター」の派遣などについて計画しているところです。

○五賀会長

ほかに質問等なければこの件については終了します。

②南相馬市地域福祉計画（案）をパブリックコメントに付すことについて

○五賀会長

次に報告事項②「南相馬市地域福祉計画（案）をパブリックコメントに付すことについて」担当より説明を求めます。

○社会福祉課社会福祉係長

(資料により説明)

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ございますか。

○前田委員

①市社会福祉課、社会福祉協議会、民生委員の関わりについて教えてください。

②民生委員の役割、変更したときの対応、家庭訪問の回数など決まりはありますか。

○社会福祉課社会福祉係長

①市、社協、民生委員は、相互に補いながら市の福祉を進めています。

市が対応できないところは、社協に補助金を出して事業を展開していただいています。また民生委員には地域における福祉活動ということで、市としては手が届かない部分を補っていただいています。

②民生委員が変更になった場合は、広報やホームページでお知らせしています。

民生委員がなかなか来ないということは市としても聞いています。ただ、一人で多数の世帯を担当している方が多いのが現状です。しかし、地域で困っている方、一人暮らしの方の健康状態を把握するというのが民生委員の仕事ですので、訪問するようお願いしています。

○早川委員

ボランティアやNPOの市民活動が地域福祉を推進する上で重要ですが、その課題として、①人的資源をどのように確保するのですか、②専門家との情報共有のためのネットワーク手段をどのように構築していくのですか。

○社会福祉課社会福祉係長

①ボランティア対応については社協にお願いしており、市では補助金など経費の面で協力しております。

②専門家とのネットワークですが、個人的には出前講座と同じように、市内外で専門的知識を持っている方を地域に紹介できる場を設けていければと思います。

○五賀会長

ほかに質問等なければ、この件についてはこれで終了とします。

③南相馬市第四期障がい者計画・障がい福祉計画（案）をパブリックコメントに付すことについて

○五賀会長

報告事項③「南相馬市第四期障がい者計画・障がい福祉計画（案）をパブリックコメントに付すことについて」担当より説明を求めます。

○社会福祉課障がい福祉係長

（資料により説明）

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ございますか。

○渡部委員

『障がいのある人の雇用（就労）の場の確保』とありますが、これはハローワークを経由すると、障がい者の程度に応じて助成金が出るので、企業でも積極的に活用するようという動きですが、その部分についてのハローワークとの連携はどのようになっていますか。

○社会福祉課障がい福祉係長

障がい者の雇用の確保については、ハローワーク主催の障がい者雇用連絡協議会に参加しています。

年に1回ですが、企業と障がい者の就労マッチングの面接会を開催しており、そこで奨励金の説明もしています。

あわせてテクノカレッジ浜で行っている委託訓練事業というものがありまして、ハローワーク、テクノカレッジ浜、障がい者就労支援センターと連携して進めています。

○大塚委員

『福祉を担う人材の確保・養成』とありますが、資格をとるための費用を支援するというのでしょうか。

○社会福祉課障がい福祉係長

社会福祉課の事業には金銭的な支援はありませんが、長寿福祉課で介護職員の講座を実施しており、受講料を免除している事業があります。

なお、障がい者のコミュニケーション支援事業ということで、手話通訳を学ぶ方の講座を社協に委託し、受講料を頂かない形で来年度実施する予定です。

○五賀会長

ほかになければこの件については終了します。

④南相馬市高齢者総合計画（案）をパブリックコメントに付すことについて

○五賀会長

次に報告事項④「南相馬市高齢者総合計画（案）をパブリックコメントに付すことについて」担当より説明を求めます。

○長寿福祉課長寿福祉係長

(資料により説明)

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ありますか。

○前田委員

認知症は薬で治るのですか。治らないとすれば、医療費の減免等は検討していますか。

○長寿福祉課介護予防担当係長

認知症は進行が進んでからはなかなか治らないと言われていますが、初期の段階であれば、ある程度の進行を抑えることができる薬は開発されています。また、軽い状態であれば薬を使わなくても生活改善をすることで症状を進行させることなく生活できるということもされており、介護予防の面で認知症予防に取り組んでいきたいと考えております。

医療費の減免等については検討していません。

○早川委員

①高齢者虐待は、加害者の認識の低さや外部に伏せる傾向があり、外部から発見されにくいですが、虐待の発見と防止については、どのような考えを持っていますか。

②虐待に対する会議や支援、緊急性の判断についてどのような考えを持っていますか。

③高齢者の権利、保障を明らかにした法律はありますか。

○長寿福祉課長寿福祉係長

①高齢者の虐待は早川委員のご指摘どおり、表に出にくいものだと思います。地域の方、周りの方が小さな変化を見逃さないことが重要ですので、何かあれば市や地域包括支援センターに通報をいただきたい、またそういった啓発活動を行っていききたいと考えております。

②虐待防止ネットワーク会議が組織されており、その下に個別検討会議という実務者レベルの検討会議を設置して取り組んでいます。

③高齢者虐待に関する法律については、後ほどご連絡さし上げたいと思います。

○前田委員

敬老祝金ですが、以前は現金で敬老の日に渡していたのが、今は口座振込と聞きました。一人暮らしの高齢者の方は申請書を書くのも大変です。なぜ口座振込になったのですか。

また、申請を忘れた場合、遡及し支給してもらえるのですか。

○長寿福祉課長寿福祉係長

震災前は民生委員の方にお問い合わせをして現金でお支払いをしていましたが、

震災以降は避難等の状況もあり、口座振込にしています。

なお、震災以降は市で対象者を抽出しておりますので、支払い漏れは今のところありません。

どうしても口座がわからない方に対しては直接訪問し現金で支払う対応をとっています。

○鈴木委員

基本理念の副題として、『元気、いきいき、健幸を目指して』とありますが、この「健幸」は「健康」と同じ意味で、健やかに幸せを目指してという意味ですか。

○長寿福祉課長 長寿福祉係長

健やかに幸せにという願いを込めて、このような字を充てました。

○菅野副会長

施設への入所待機者が多いですが、具体的に対応策はありますか。

○長寿福祉課長 長寿福祉係長

入所希望者の中には重複の申し込みがあり、実際の申込者数は約 600 人と認識しております。

今回の計画期間の中で、新しい施設の建設はありませんが、震災以降閉所している施設の再開予定がありますし、現在増床を行っている施設もあります。職員不足もありますので介護職員の養成、さらには介護予防に力を入れることで当面は対応していきます。

○渡部委員

早川委員の質問の関連ですが、虐待について、少子高齢化や震災の影響がある現在の地域コミュニティの状況を考えたときに、だれが気づき、だれが報告するか、簡単な問題ではないと思います。

見守り隊の活用など、行政側の今一步踏み込んだ施策が必要ではないかと思いますが、どう考えていますか。

○長寿福祉課長 長寿福祉係長

行政といたしましても、座して待っているわけではなくて積極的に外に出ていきたいと思っております。

具体的には、介護予防サポーター養成、民生委員等との連携強化といったことで対応していきたいと思っております。

○五賀会長

ほかに質問等なければ、この件についてはこれで終了します。

(休憩)

⑤第2次南相馬市男女共同参画計画（素案）をパブリックコメントに付すことについて

○五賀会長

再開します。

報告事項⑤「第2次南相馬市男女共同参画計画（素案）をパブリックコメントに付すことについて」担当より説明を求めます。

○男女共同子ども課長

（資料により説明）

○五賀会長

ただいま説明が終わりました。質問等ありましたらお受けします。

○渡部委員

働く女性の職業意識・能力の向上支援について、具体的な対応策をお聞きしたいです。

その中で、配偶者の扶養の範囲内で働きたいという女性がいることは事実だと思います。この扶養の範囲内でしか働けない女性の環境を変えていくのか、それともその扶養の範囲内の枠を撤廃してもっと働いてもらい就労意欲の向上につなげるのか、行政側としてどう考えていますか。

○男女共同子ども課男女共同参画係長

就労への働きかけについては、市商工労政課や商工会等と連携しながら、働きかけをしていきたいと考えています。

○男女共同子ども課長

生産年齢人口が減少している中で、女性の労働力というのは非常に重要ですので、女性の労働力・能力を十分に活用することができる、男女とも働きやすい社会の実現を目指しています。

また、今回、計画に復興・防災における男女共同参画の推進を掲げておりますが、やはり復興していく上では、女性の力も十分に活用したいという意向があります。

ただ、それぞれのライフスタイルや考え方によって、いろいろな働き方があるのではないかと思います。

○五賀会長

ほかに質問等なければこの件についてはこれで終了とします。

（2）協議事項

①鹿島区の子どもの遊び場について

○五賀会長

次は順番が前後しますが、同じく男女共同子ども課から協議事項がございますので先にそちらの協議を行いたいと思います。

協議事項②「鹿島区の子どもの遊び場について」担当に説明を求めます。

○男女共同子ども課長及び子育て支援係長

(資料により説明)

○五賀会長

説明が終わりました。協議をしたいと思います。

○前田委員

確認ですが、これは企業が寄贈してくれる施設とは別に、市で独自につくるのですか。

そうしますと予算はどうなっているのですか。

○男女共同子ども課子育て支援係長

以前ご説明させていただきました、寄贈を受ける施設とは全く別の施設です。

こちらは、福島定住等緊急支援交付金を活用する予定で進めています。市の予算は、その財源が確保された時点で計上する流れになっております。

今のところ概算事業費が2億7,000万円です。

○前田委員

金額が大きいです。市の予算確保はできるのですか。

○男女共同子ども課子育て支援係長

交付金と地方交付税をあわせることで、ほぼ市の負担がない状況で施設整備ができますので、財源が確保されれば、市の方でも予算確保できる見込みです。

ただし今回は遊具の整備費用は対象外です。

○前田委員

そうしますと隣の千倉仮設住宅が平成28年3月で無くなるという話はどうなりますか。

○地域振興課長

来年4月以降の避難指示区域等の解除に向けて市は進めておりますので、仮設住宅の集約は、それ以降進んでいくものと捉えています。

○早川委員

鹿島区の将来の見通しについてはどのような考えを持っているのですか。

○地域振興課長

鹿島区地域ビジョン策定の中で、地域の現状と課題については皆様と協議し、施設整備や土地利用について検討してきたところです。

その中で子どもの遊び場については、これまで2回ほど皆様と協議をし、

場所については今説明しました場所が適地であるというご意見をいただいておりますので、今回計画にあたり皆様に再度ご協議をお願いするものであります。

○菅野副会長

今費用をかけて子どもの遊び場をつくるのはいいですが、将来人口が少なくなると予算もなくなるので、できる限りコストがかからないようにお願いしたいです。

○男女共同こども課子育て支援係長

原町のわんぱくキッズ広場では、職員を配置せずに、防犯カメラを設置し、市でその状況を確認しながら管理しておりまして、その費用が年間 100 万円程度かかっています。

○菅野副会長

まずは十分にイニシャルコストをかけて、修繕・補修費用を少なくしてほしいです。

○男女共同こども課子育て支援係長

そのように心がけます。

○渡部委員

西（道）委員が懸念していた、送迎時の車の状況など細かな問題点はクリアできたのですか。

○男女共同こども課子育て支援係長

鹿島小学校の北側に、現在教職員の方が駐車場として使っている場所があります。校長先生とも協議させていただいて、協力していただけるとのことでしたので、その場所を送迎に使う形で調整したいと思います。

幼稚園は今よりも不便にはなりますが、そういった形で送迎の対応ができると考えております。

○地域振興課長

確認させていただきますが、ご協議いただいた設置場所及び規模等については、担当課で提案した考え方で進めてよろしいでしょうか。

○五賀会長

渡部委員から質疑があったように、一番は送迎の問題がありますが、学校の方で対応してくれるということですので、何とか懸念されている部分も解消できるのかと思います。

ただ実際送迎時の車の流れを見ますと、窮屈な部分が出てくるのかと思いますが、担当部局のほうでクリアできるということであれば了と考えます。

よろしいですか。

○委員

「異議なし」の声

(1) 報告事項

⑥南相馬市水産業共同利用施設設置条例の改正について

○五賀会長

それでは報告事項に戻ります。

報告事項⑥「南相馬市水産業共同利用施設設置条例の改正について」担当より説明を求めます。

○産業建設課長及び農林水産係長

(資料により説明)

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ありますか。

○前田委員

こちらは指定管理者制度で相馬双葉漁協の管理になるのですか。

○産業建設課農林水産係長

現在指定管理者として決まっているのは漁船保全修理施設のみです。

そのときは公募という形でしたが、最終的に応募があったのは相馬双葉漁業協同組合、1団体のみでした。今後の施設についても、現在の漁船保全修理施設の運営状況や応募の経緯等を考慮し、指名での管理者選定も視野に検討する考えです。

○五賀会長

施設は、鹿島の船でも浪江の船でも平等に使えるのですか。

○産業建設課農林水産係長

現在、浪江の請戸港に所属していた9隻の船が真野漁港を利用していますが、請戸漁港が整備された後にはそちらに戻るということになっていますので、それまでは、真野漁港を利用するというので整理しています。鹿島の船でも浪江の船でも平等に利用できます。

○五賀会長

ほかになければこの件についてはこれで終了とします。

⑦広域消防鹿島分署の移転建設地について

○五賀会長

次に報告事項⑦「広域消防鹿島分署の移転建設地について」担当より説明を求めます。

○地域振興課長

10月28日開催第5回地域協議会において、市有地に移転建設ということで中間報告し、了承いただいております。その後、庁内でさらに検討し、鹿島生涯学習センター隣の臨時駐車場に建設ということで進めることになりましたので、詳細について係長からご報告いたします。

○地域振興課振興係長

(資料により説明)

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ありますか。

○前田委員

移転改築するのであれば、現在の分署の耐震診断は必要ないのではないですか。

○地域振興課振興係長

消防防災施設災害復旧費補助金を受けるためには、震災により使用に耐えない状況になったということが条件なので、その証明していただくために今調査を行っていただいております。

○五賀会長

雪の時などに、緊急時の初動対応が難しい場所であり、早期着工ということでの検討結果と思います。消防署に隣接する場所に防災倉庫の建設の提案もあったはずですが、その点については何か検討されたのですか。

○地域振興課振興係長

防災倉庫については、原町区、鹿島区、小高区それぞれにつくるということで、現在危機管理課で検討している段階です。

○五賀会長

ほかになれば、この件については終了したいと思います。

(2) 協議事項

②津波被災者の下水道受益者負担金について

○五賀会長

協議事項②「津波被災者の下水道受益者負担金について」担当より説明を求めます。

○地域振興課長

この件については、前々回から継続して協議させていただいています。今回、正副会長及び松野委員に確認をいただいて、市へ提出する要望書がまとまりました。

本日は皆様に内容を確認していただき、それによろしければ1月23日(金)午後1時30分から市長の面談時間をとっていただきましたので、地域協議会として要望をしたいと考えておりますので、要望案について協議をお願いします。

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ありますか。

○前田委員

要望書の提出は正副会長、松野委員の3人で行くのですか。ほかの委員も参加可能ですか。

○地域振興課長

ほかの委員の皆様にも時間を取れる方は同席をお願いします。

○五賀会長

今説明がありましたように、1月23日の1時30分から、要望を行うということで時間をとっていただいております。地域協議会としての要望ですので、会長と松野委員、ほかに時間をとっていただける方がいればご協力をお願いします。

(前田委員より同席希望あり)

では前田委員にご協力をお願いします。

○五賀会長

ではこの点についてもほかになければこれで終わりたいと思います。

(3) その他

①地域協議会だよりについて

○五賀会長

①地域協議会だよりについて説明を求めます。

○地域振興課振興係長

(資料により説明)

○五賀会長

今の説明のような方法で地域協議会だよりを出すということでございますので、質問等なければご了解いただきたいと思います。

○委員

「異議なし」の声

②次回地域協議会の日程について

○五賀会長

②次回の地域協議会の開催の日程について説明を求めます。

○地域振興課長

事務局案といたしましては2月19日、午後1時30分から開催を考えております。

内容については、27年度の当初予算関係、特に鹿島区の予算にかかわるものが中心です。

○五賀会長

日程について質疑がありますか。なければこの日程についてはご了解をいただき次回開催をするということによろしいですか。

○委員

「異議なし」の声

○五賀会長

ほかに質問等なければこの件についてはこれで終了とします。

○五賀会長

その他皆さんから何かありませんか。

なければこれもちまして本日の議題はすべて終了いたします。

長時間ご苦労様でした。

6 閉 会

以上のとおり相違ありません。

会 長 五賀 和雄

会議録署名人

渡部 裕幸

会議録署名人

前田 典郎